



品番 HH-LE271L

お客様へ

以下の場合は必ず、販売店、工事店に取り付けをご依頼ください。

- 電気工事の知識のない方。
- 新規に電源線を施設する場合、既設電源線を加工する場合（電気工事士の資格が必要）。
- 電源線が、より線の場合。

取り付け前のご準備

- 既設の電源線の種類をご確認ください。φ1.6mm、φ2.0mmの単線の場合は、そのまま接続できます。

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。（下図は図記号の一例です。）



してはいけない内容です。



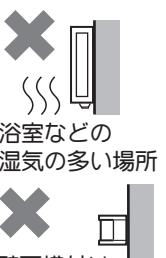
実行しなければならない内容です。



警告

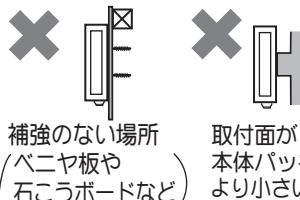
■壁面

●次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



禁止

浴室などの
湿気の多い場所



補強のない場所
(ベニヤ板や
石こうボードなど)

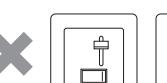
取付面が
本体パッキン
より小さい場所

■壁スイッチ

●調光器が付いた壁スイッチの場合は、
一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る



◎調光器の取り外しが必要です。

◎この器具は防雨型、壁面取付専用です。

●検知部が下になるように取り付ける

浸水による感電の
おそれがあります。

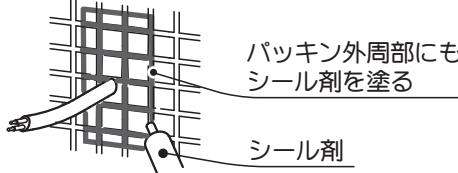


検知部



必ず守る

●取付面と本体パッキンのスキマおよび
パッキン外周部にシール剤を塗る



パッキン外周部にも
シール剤を塗る

シール剤

本体パッキンと取付面とのスキマを防水シール剤
などで埋めてください。

防水が不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い
確実に行う
取り付けに不備があると、火災、感電、落下
によるけがのおそれがあります。



必ず守る

●交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電の
おそれがあります。

●電源線は端子台の差込み穴の奥まで
確実に差込む
差し込みが不完全な場合、火災、感電の
おそれがあります。

! 注意

● 温度の高くなるものの上に取り付けない

ガス機器やその排気筒の上に取り付けない
でください。



守らないと火災の原因となることがあります。



必ず守る

● 器具に直接日光が当たる状態で点灯させない

温度上昇によるランプ短寿命や一時的な明るさ
低下・不点灯の原因となります。

● 付属の梱包材は取り除いて使用する

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

● 器具表示の指定方向に従って取り付ける

守らないと、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

● 電源線はランプに触れないようにする

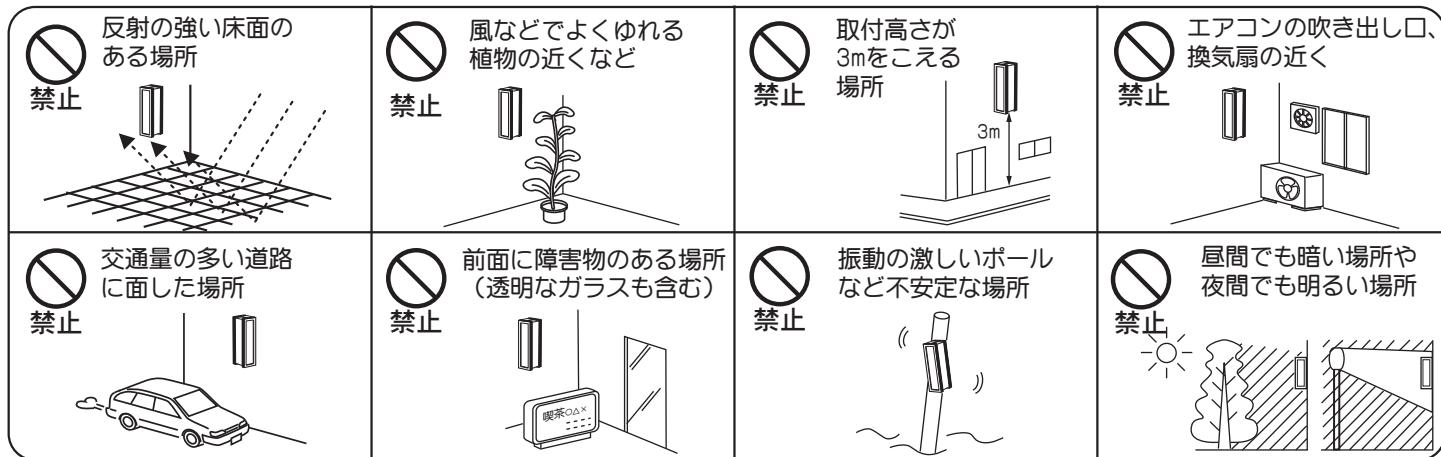
守らないと、火災、感電の原因となることがあります。

施工前のご確認事項

■ 設置場所についてのご注意

● 次のような場所には取り付けないでください。

この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。



■ 配線についてのご注意

● 必ず壁スイッチを設けてご使用ください。（スイッチは別途ご用意ください）

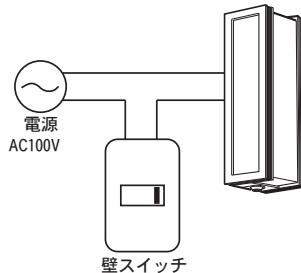
- 連続点灯への切り替え操作ができません。
- センサによる点灯モードに異常が発生したとき、リセットできません。

● 壁スイッチは器具1台につき1個設置してください。複数台を1個のスイッチに配線すると、点灯状態にバラツキが発生するおそれがあります。

● 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。（故障ではありません）

● 通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

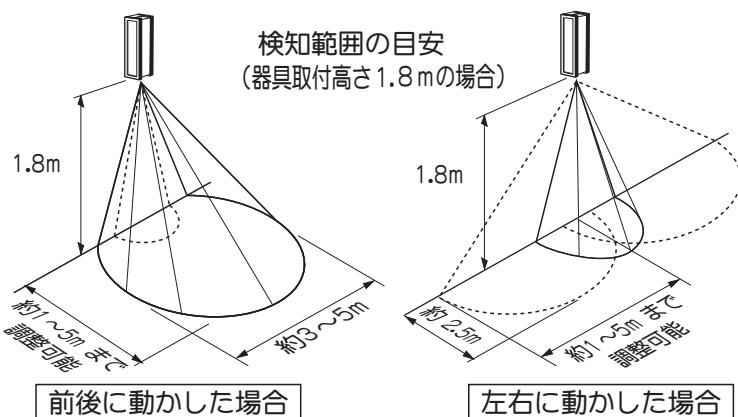
● ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につきスイッチ3個までご使用ください。 (4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切りにしても器具が消灯しないことがあります)



■ センサの検知範囲

● センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。（センサの検知部は全方向に約20度動きます）

● 器具の取付高さ1.8m（標準）～3mの間では、検知範囲は変わりません。

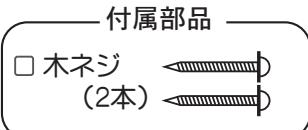


ご注意

- この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物、自動車など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
- 検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
- 夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
- センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがあります。ただし、器具の故障ではありません。

付属部品の確認

- 付属の木ネジ(2本)があることを確認してください。



調整ツマミの設定について

- この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。必ず、「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

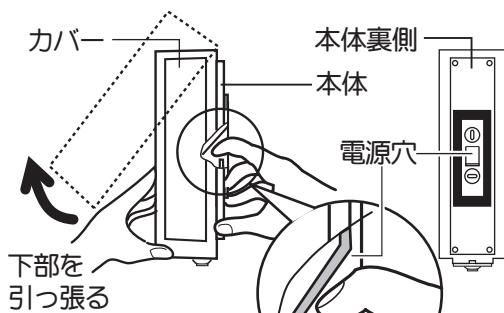
各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

取り付け前の準備

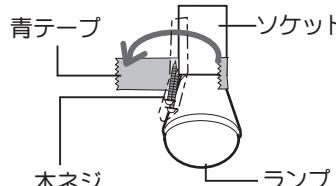
①カバーを外す

- 本体裏側の電源穴に指を掛け、カバーを引っ張って外してください。



②梱包テープ(青テープ)を外し木ネジを取り出す

- ランプ&ソケット部に貼りつけてある木ネジを梱包テープ(青テープ)をはがして取り出してください。



③ランプを外す

1 本体を取り付ける

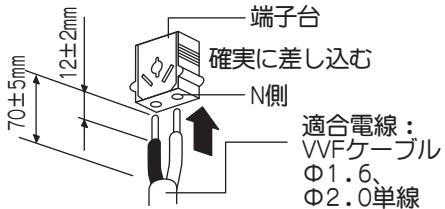
- 取付方向表示に従い補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で取り付けてください。
- 器具取付ピッチ 60mm

注意

器具表示の指定方向に従って取り付ける
守らないと、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

2 端子台に電源線を接続する

- ランプに触れないように電源線の処理を行ってください。
接続が不完全な場合火災の原因となることがあります。

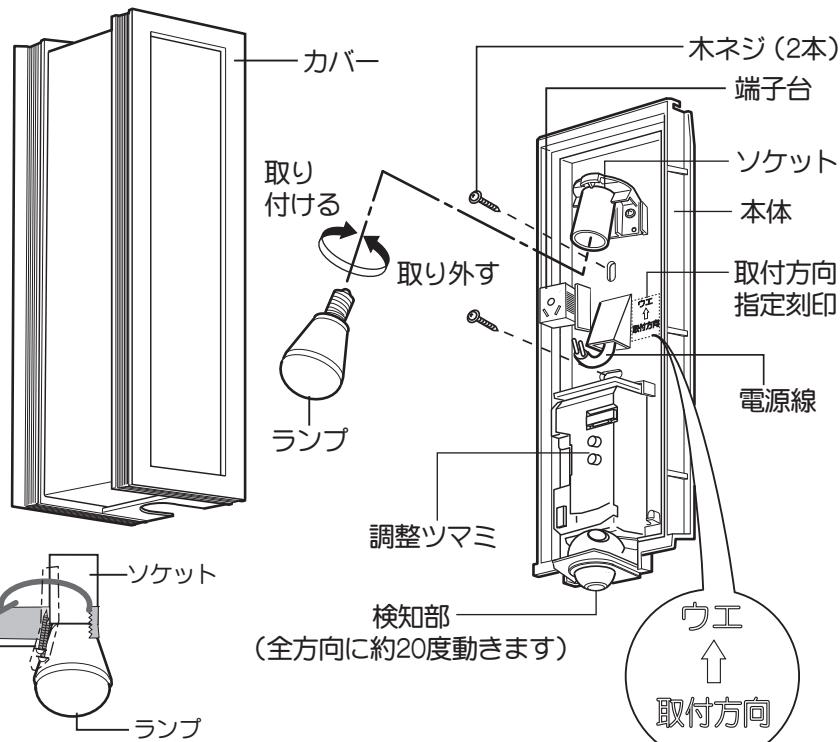
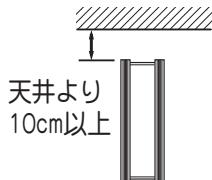


注意

電源線はランプに触れないようにする
守らないと、火災、感電の原因となることがあります。

取り付け時のご注意

- この器具はカバーの取り外しに右図の空間が必要です。



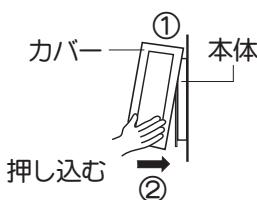
3 ランプを取り付ける

4 検知部の調整と調整ツマミを設定する

- 「検知範囲と調整ツマミを設定する」(4ページ)を参照して設定してください。

5 カバーを取り付ける

- カバー上部を本体に引っ掛ける
- カバーアー下側を音がするまで本体に押し込む



電源線の外しかた



マイナスドライバー等の先端で解除穴を押しながら片方ずつ電源線を引き抜く

検知範囲と調整ツマミを設定する

昼間でも設定できます。

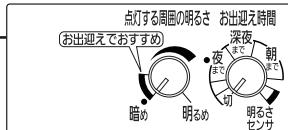
設定の前のご注意

- (1)壁スイッチをOFFにする
(2)カバーを取り外す

☞ 3ページ「各部のなまえと取り付けかた」参照

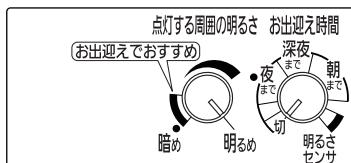
1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

出荷時の設定



[手順]

- (1)あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする



点灯する周囲の明るさ——「明るめ」(右いっぱいに回す)
お出迎え時間——「切」(左いっぱいに回す)

- (2)検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する

- 検知部は、全方向に約20度動きます。
- センサの検知範囲は、☞ 2ページ「センサの検知範囲」を参照ください。

- (3)壁スイッチをONにし、センサの検知範囲の外に出る

→ 約40秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は、以下の原因が考えられます。

- お出迎え時間が「切」になっていない ⇒ お出迎え時間を「切」にする
- センサの検知範囲に入っている ⇒ センサの検知範囲から外に出る
- 連続点灯になっている ⇒ 壁スイッチを一度OFFにし、5秒以上おいて再び壁スイッチをONにする
(検知部が赤く光ったまま)

- (4)消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する

- センサの検知範囲の外に出てから約5秒後に消灯します。

2 使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

- いったん壁スイッチをOFFにしてください。

以下の3種類の使い方ができます。(詳しくは ☞ 取扱説明書3ページ)

使いかた	お出迎えモード	ON/OFFモード	明るさセンサモード
動作	暗くなったら点灯 設定時刻になると消灯 設定時刻以降は人が近づいたときに点灯	暗くなって、人が近づいたときに点灯	暗くなったら点灯 明るくなったら消灯
おすすめのツマミ設定			
詳しい設定方法	☞ 取扱説明書4ページ	☞ 取扱説明書5ページ	☞ 取扱説明書6ページ

3 カバーを取り付ける

☞ 3ページ「各部のなまえと取り付けかた」5参照

4 壁スイッチをONにする

→ スイッチONにした直後は周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

ご注意●お出迎えモードに設定した場合

壁スイッチをONにした初日は、手順2で設定した「お出迎え時間」ツマミの位置に関係なくお出迎え点灯は約4時間で終了します。翌日より設定した時刻通り終了します。